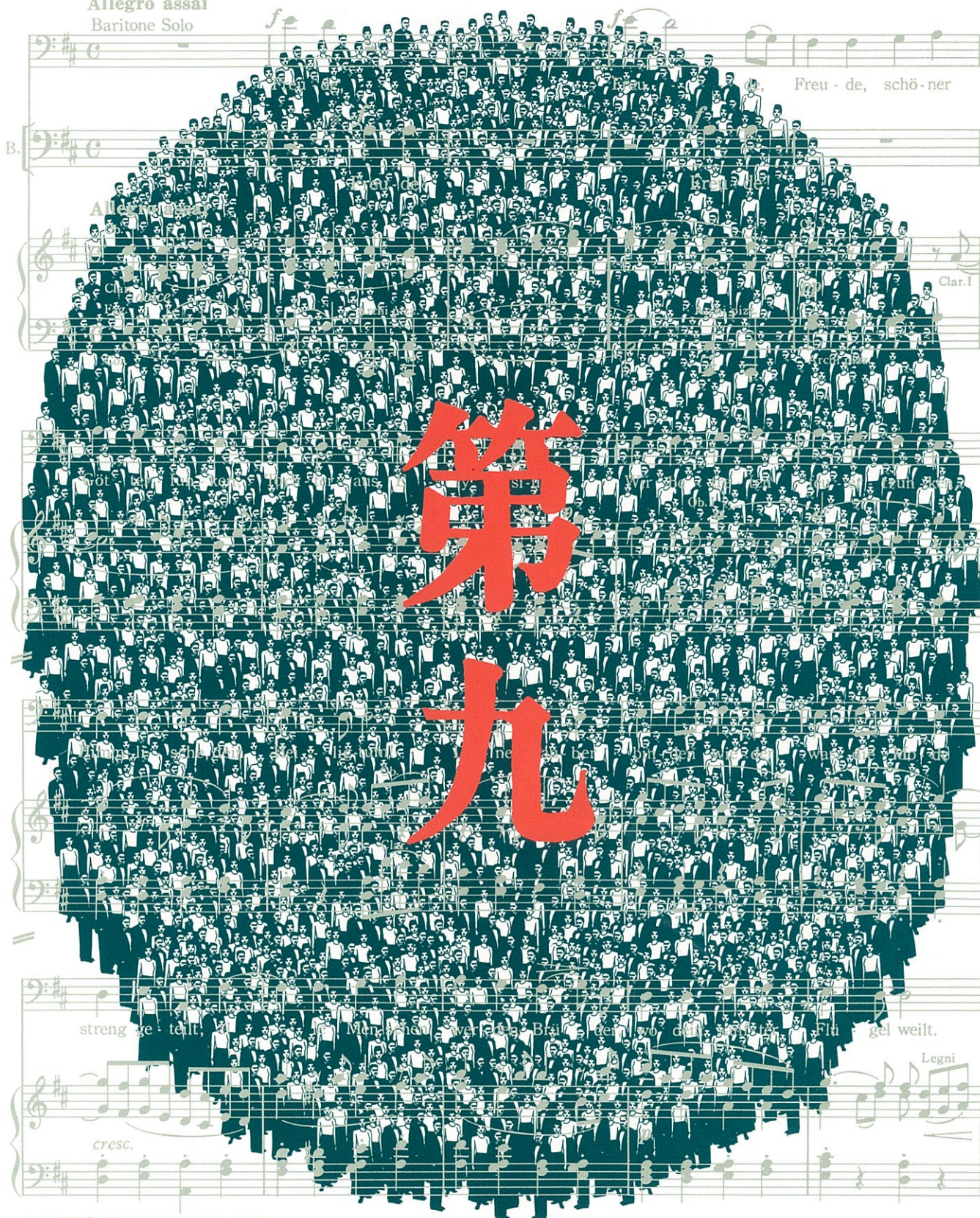


Allegro assai
Baritone Solo



カワイ出版刊「交響曲 第九番 第4楽章“合唱”より転載

2000春日井市民第九演奏会

とき 2000.12.3 SUN 午後3時開演 春日井市民会館

主催 春日井市、(財)かすがい市民文化財団、春日井市教育委員会、2000春日井市民第九演奏会実行委員会

共催 春日井市交響楽団、春日井第九合唱団

後援 中部大学、中日新聞社

ごあいさつ



春日井市長 鵜飼 一郎



(財) かがい市民文化財団理事長
2000春日井市民第九演奏会実行委員会会長
中部大学総長 山田 和夫

本日は「2000春日井市民第九演奏会」に、ようこそお越しくださいました。

今年も残すところ一月となりましたが、今世紀最後の年の瀬を市民の皆様とともに第九の調べを聴きながら過ごせることを、大変嬉しく思います。

市制50周年を契機として始まりました「春日井の第九」も、本年度で第8回を数えるまでになりました。これもひとえに、春日井第九合唱団と春日井市交響楽団の皆様を始め、関係の皆様のご多大なるご尽力の賜物と心から感謝申し上げます。

師走を彩る第九演奏会は、全国各地において催されるようになりましたが、合唱から管弦楽までのほとんどを市民が担う「春日井の第九」は全国的にも珍しく、春日井市の音楽文化にとって大変意義のある活動であるといえます。

本市は、21世紀のまちづくりの中で、文化について「個性ある文化と豊かな情操を育むまちづくり」を目標として掲げ、市民の皆様の主體的な文化活動を支援しております。こうした中、このように大きな演奏会を市民の皆様自らの手で創り上げ、その活動を継続・発展されてみえますことは、まことに心強く喜ばしいことでもあります。

さて、8年目を迎え、ますます演奏に磨きのかかる春日井第九合唱団と春日井市交響楽団、そして個性豊かなソリストを率いるのは新進気鋭の女性指揮者パロマ・ノグエスさんです。その多彩な音楽的才能によって「春日井の第九」の新たな魅力が引き出されるものと大いに期待しております。

それでは、来る新世紀に思いを馳せながら、師走のひとときをどうぞごゆっくりお楽しみください。

本日は、「春日井市民第九演奏会」にようこそおいでくださいました。今世紀最後の「春日井第九」であり、新世紀前夜の「春日井第九」でもあります。市民のみなさまと一緒に、新旧二つの世紀を、世界の平和と人類愛を高らかに歌うベートーヴェンの「第九交響曲」で結ぶことが出来ますのも、私たち音楽文化にたずさわる者にとりまして最高の喜びです。この4月に「かがい市民文化財団」が発足いたしました。春日井市の文化行政も、新しい世紀を拓いて参ります。これからも、文化都市春日井の輝かしい未来のために、みなさまのご協力とご支援をお願いいたします。

今年、ウィーンから24歳の若き女性の指揮者パロマ・ノグエスPaloma Noguèsさんをお招きしました。初来日です。アルゼンチンで生まれ、ウィーンで音楽を学んだパロマさんは、交響曲やオペラの指揮だけでなく、合唱指揮者としてもご活躍であり、ヴァイオリン協奏曲のソリストやピアノ協奏曲のソリストもつとめるといふ天才です。オーケストラと合唱とソリストからなる最大規模の音楽である「第九交響曲」に、もっともふさわしい指揮者といえましょう。

ソリストは、おなじみの稲垣俊也さんと、オーディションで選ばれた中西麻貴・福原寿美枝・許昌のみなさまです。それに、春日井の音楽文化の顔である春日井第九合唱団と春日井市交響楽団が加わり、合唱団では、八十歳の山本妙子さんと八歳の荒田寛子さんと十歳の稲垣美帆さんも家族と一緒に歌います。

それでは、新旧二つの世代が、二つの世紀の出あいを演出する、これまで以上に新鮮で希望に満ちた「春日井第九」を、ごゆっくりお楽しみ下さい。

プログラム

Program

ルートヴィヒ・ファン・ベートーヴェン作曲
LUDWIG VAN BEETHOVEN (1770-1827)

交響曲第9番 二短調 作品125 「合唱つき」 Symphony No.9 in d-minor op.125 "Choral"

- 第1楽章 アレグロ マ ノン トロッポ, ウン ポコ マエストーゾ
1 mov. Allegro ma non troppo, un poco maestoso
- 第2楽章 モルト ヴィヴァーチェ
2 mov. Molto vivace
- 第3楽章 アダージョ モルト エ カンタービレ
3 mov. Adagio molt e cantabile
- 第4楽章 フィナーレ, プレスト - アレグロ アッサイ - レシタチーボ - アレグロ アッサイ
4 mov. Finale, Presto - Allegro assai - Rezitativo - Allegro assai

指揮者
Conductor

パロマ・ノグエス
Paloma Noguès



ソプラノ Soprano
中西麻貴
Nakanishi, Maki

アルト Alto
福原寿美枝
Fukuhara, Sumie

テノール Tenor
許昌
Kyo, Shou

バス Bass
稲垣俊也
Inagaki, Toshiya



Music director
音楽監督 都築正道
Tsudzuki, Masamichi

Sub conductor
合奏指導 加藤莞二
Katoh, Kanji

Chorus conductor
合唱指揮 吉川 朗
Yoshikawa, Akira



管弦楽 春日井市交響楽団
KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA



合唱 春日井第九合唱団
KASUGAI CHORUS OF THE 9TH SYMPHONY

出演者紹介



指揮者 パロマ・ノグエス

24歳。アルゼンチンで生まれ。まずヴァイオリンとピアノと作曲を学びました。1994年にアルゼンチン・カトリック大学の科学・美術・音楽総合学部に入り、合唱とオーケストラの指揮を学びました。1996年からウィーン音楽院で、ラインハルト・シュヴァルツ教授に指揮法を、パウル・ブライトトナー教授にコレペティートル（オペラ指導法）を、グイロ・マンクーシに合唱を学びました。ウラジミール・フェドセーエフやエルヴィン・アチエルやマニュエル・ヘマンデス＝シルヴァのマスタークラスで学びました。在学中、多くの作品を指揮し、現代音楽の世界初演の指揮もしました。

1898年と1999年に、ウィーン市の音楽学生優秀賞を受賞しました。ピアニストとしてブエノス・アイレスでたくさんの演奏会を開き、ヴァイオリニストとして、ブエノス・アイレス大学オーケストラやファン・ホセ・カストロ音楽院のオーケストラやブエノス・アイレス・アカデミー・オーケストラなどと協演してソロをつとめました。

1997年からウィーンのOttakringer Liedertafel, Conventus Musicus, Arbeiter-Sangerbund Favoritenといった合唱団の指揮もしています。

そのほかにもコレペティートルとして多くの歌手の指導に当たっていて、現在、ケープタウン・オペラ劇場でワーグナーの《タンホイザー》とモーツァルトの《ドン・ジョヴァンニ》のコレペティートルをつとめています。今回、日本デビューを、本日の「春日井市民第九演奏会」で飾ります。



ソプラノ 中西 麻貴

同志社女子大学学芸学部音楽学科音楽専攻卒業。同大学音楽学会「頌啓会」特別専修生修了。大阪音楽大学大学院オペラ研究室修了。

1995年みえ音楽コンクール声楽部門大学・大学院の部第2位、同年同志社女子大学栄光会賞、1997年

フランス音楽コンクール声楽部門フランス総領事賞、2000年みえ音楽コンクール声楽部門一般の部第一位受賞。猿木邦子、坂口茉莉、O・ミリアコヴィッチ、伊藤富次郎の各氏に師事。関西二期会準会員、びわ湖ホール声楽アンサンブル登録メンバー。



アルト 福原寿美枝

京都市立芸術大学音楽学部声楽専修卒業。音楽学部賞受賞。同大学大学院音楽研究科修了。平成10年度友愛ドイツリートコンクール第2位。京都市立芸術大学第100回記念定期演奏会でアルトソリストとして選ばれる。2度のジョイントコンサートを

はじめ、「芸術祭典京」大文字国際交響音楽祭」出演。関西音大協新人演奏会、京都音楽家クラブ新人演奏会出演。

また、バッハ「マタイ受難曲」ヘンデル「メサイア」モーツァルト「レクイエム」ベートーヴェン「第九」など多数のアルトソロをつとめる。

オペラでは、モーツァルト「コシ・ファン・トゥッテ」ドラベッラ、ヴェルディー「椿姫」アンニーナ、クルト・ワイル「七つの大罪」アンナ役などに出演。曾我淑人、正木真理、故永田綾子、三井ツヤ子、諸氏に師事。京都音楽家クラブ会員、神戸フォーレ協会会員、神戸市混声合唱団団員。



テノール 許 昌

25歳。中国北京音楽院大学を卒業。ハンガリー国際声楽コンクールに入賞。ドイツの「新声音」国際コンクールで特別賞受賞。現在東京芸術大学大学院オペラ科在学。

1974年、中国吉林省延吉市生まれ。1998年、北京中央音楽学院大学部声楽科本科卒業。在学中、助教授・黎信昌教授に師事し（1996）、中央テレビ青年歌手コンクールで優秀賞、第1回中国文化部声楽コンクールで演唱賞を受賞した。

1998年、イタリアにおいてKatya RicciarelliのMaster classを受けた。同年、第4回ブダペスト国際声楽コンクールファイナリスト。1999年、ドイツにおいて、「新しい声」国際声楽コンクール中国大会では第1位、ドイツの本選では特別賞。2000年4月、東京芸術大学大学院オペラ科入学。在学中、高橋大海教授に師事。12月の「春日井市民第九演奏会」が本格的な日本デビューとなる。



バス 稲垣 俊也

東京芸術大学卒業。文化庁オペラ研修所第7期生修了。卒業後直ちに「第九」（東京交響楽団）のソリストとして楽壇にデビュー。1990年文化庁2年派遣芸術家在外研修員としてイタリア留学。91年カシオ国際声楽コンクール入賞。92年バルマ・ヴェルディングコンクール優勝。シエナ音楽祭で欧州デビューを飾る。日本では藤原歌劇団「ラ・ボエーム」コッリーネ、「ルチア」ライモンドをはじめ、二期会「トロヴァトーレ」フェッランド、「カルメン」エスカミリオ、「愛の妙薬」ドゥルカマール等で活躍。二期会オペラ21シリーズ「ドン・ジョバンニ」の主役でも絶賛される。第3回グローバル東敦子賞受賞。第22回シエラオペラ新人賞受賞。伊藤亘行氏、アルド・ブロッティ氏に師事。97年新国立劇場オープニングで「連（タケル）」の主役を飾る。NHKニューイヤー・オペラコンサート、FMリサイタル、NHK「堂々日本史」のテーマ曲を歌うなど放送分野においても活躍中。二期会会員。



音楽監督 都築 正道

1940年名古屋市生まれ。名古屋大学文学部美学卒。関西学院大学大学院博士課程修了。「ワーグナー研究」で文学博士。現在、中部大学教授。春日井市交響楽団音楽監督。愛環音楽連盟理事長。朝日新聞音楽評担当。春日井文化フォーラム・企画運営アドバイザー。春日井文化懇話会会長。（財）かすが市民文化・財団理事。「オペラ・トーク」「ハイビジョン・オペラ・シアター」など、講演会やTVや雑誌でオペラの解説。「名古屋オペラ・サロン」主宰。主著『楽劇・音と言葉の美学』（音楽之友社）。



コンサートマスター 練習指揮 加藤 莞二

ヴァイオリンを尾島綾子・東儀幸各氏に師事。在学中より指揮を学び、卒業後関西二期会等で朝比奈隆氏他の副指揮を務めた。大阪音楽大学でのオペラ指揮を皮切りに、各地でオーケストラやオペラを指揮。特にアマチュアオーケストラのトレーニングは好評。ルーマニアの「第2回ディヌ・ニコレスク国際指揮者コンクール」入賞及び審査員特別賞受賞。6年後同国でオペラ「カヴァレリア・ルスティカーナ」他を客演指揮し、海外でも評判を得る。伊丹シティフィルハーモニー管弦楽団監督。クレフ室内管弦楽団主宰。



合唱指揮 吉川 朗

愛知教育大学音楽科卒業。同大学院（作曲）修了。あけぼの合唱団、大高北PTAコーラスを始め、名古屋オペラ協会、愛知県文化振興事業団などのオペラの正指揮、副指揮を務める。名古屋芸術大学音楽部オペラ研究室実技補助員。大垣女子短期大学非常勤講師。

ピアノ伴奏(合唱団) 竹内 理恵



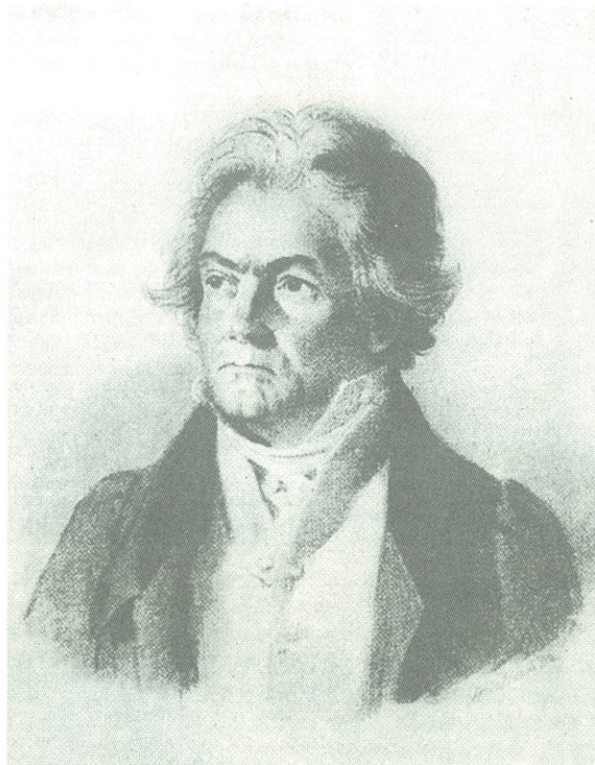
オーケストラ 春日井市交響楽団

平成2年11月、春日井市初のアマチュアオーケストラとして誕生。翌年創立記念演奏会を開催。以後毎年、春日井市民会館の満席の聴衆の前で定期演奏会を開き、今年7月の第8回定演でも、チャイコフスキーの交響曲第6番『悲愴』などを演奏して成功を納める。名誉会長の鶴飼一郎春日井市長、会長の山田和夫中部大学総長、団長の花村浩克を中心とした約60名の団員が、春日井市の音楽文化の原動力となるべく日々研鑽を積んでいる。昨年6月の「桑名菖蒲コンサート」（桑名市）・同9月の「第1回愛環音楽祭」（瀬戸市）など、他都市にまで活動の場を広げて「音楽大使としての市民オケ」の役割を果たしている。また先の（社）春日井建設協会主催の「菊華コンサート」では、フルーティストの山形由美と共演して好評を博す。ここ数回、ウィーンの指揮者A.ドゥルカー、D.H.カヴァッツア氏と共演し、今回のノグエスさんとの演奏は、その成果を問うものとなる。



合唱 春日井第九合唱団

平成5年12月の春日井市制50周年記念「第九演奏会」に出演した春日井市民を中心に結成された合唱団。それ以降、毎年12月に開かれる春日井市民第九演奏会に、200名の大合唱団として出演。創立以来、ベテランの指導者吉川朗先生の熱心な指導に加えて、団長の荒川昭代とそれを支えるスタッフの優れたリーダーシップが、経験豊かな団員を勇気づけ、心のごもった質の高い演奏を生みつけている。昨年9月の「第1回愛環音楽祭」（瀬戸）を受けて、来年3月の「第2回愛環音楽祭」（春日井）にも出演予定。数多くの積極的な合唱活動によって春日井の音楽文化の中心となるべく努力を続けている。



「第九」初演時のベートーヴェン

音楽と楽の音

春日井市交響楽団音楽監督 都築 正道

難しい第九 私たちは恒例になっているので、もう、ベートーヴェンの「第九」なら大丈夫だと思っています。でも、本当は、なんど演奏しても上手くないところがあるのです。むしろ、技術的な難しさが真っ先にあります。プロがやっても、なかなか上手く奏けなところがあります。第4楽章の冒頭のレシタチーヴォはとても難しいので、ワーグナーがドレスデンで初演したときには、「チェロとコントラバスだけ何日も特訓した」といっています。合唱も、高い声でいつまでも歌い続けなければなりません。天から聞こえてくるような、弱くて、美しい声を出さなければなりません。ソリストの四重唱など、どんなCDを聴いても、アンサンブルに満足するものはありません。

正確に伝える それに、技術以上に、音楽的な難しさがたっぷりあります。昨年のプログラムの「第九のお話:この世で見つけた幸せ」で述べましたが、「第九」はベートーヴェンの最後の作品であり、彼が私たちに残した「遺言」でもあるのです。そうであるならば、ベートーヴェンの遺志を正しく理解して、正しく伝えることが、「第九」の演奏者にとって、もっとも重要なことです。それに、私たちは常に楽観的ですが、芸術はだれにでも分かるものではないのです。分かる人だけに分かってもらえばいい、分からない人は分からなくてもいい—と言う、冷淡なところが芸術にはあ

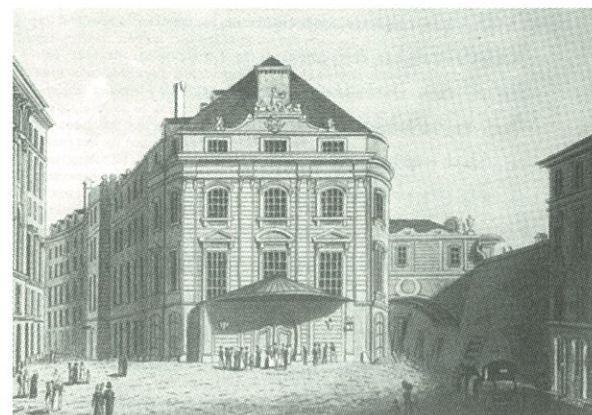
るのです。「第九」を理解し、喜び楽しむことが出来るのは、選ばれた人たちだけです。それは、演奏者も聴衆も同じです。でも、まず、演奏する者が全き理解者とならなくてはなりません。

楽音から音楽へ 「音楽とはなんですか」と訊かれて、「音を楽しむことです」と演奏者が答えるなら、それは間違いです。「音 (tones) を楽しむ (enjoy)」なら「音楽」ではなく「楽音」([We] enjoy the tones) でなければならないからです。では、「音楽」とはなんでしょうか。文字通り、「音が楽しむ (Tones enjoy) こと」です。私たち演奏家が楽しむのではなく、音が楽しむのです。では、音はなにを楽しむのでしょうか。むしろ、「音が音そのものであることを楽しむ」(Tones enjoy themselves) のです。これが、「音楽」です。すなわち、「音楽」が「音楽」であるかどうかは、音が本来の音そのものであり、本来の音以外のなにものでもないことを、音自身が満足しているかどうかを問うことにあります。英語ではこのことを、「サウンド・オブ・ミュージック」(楽の音・音の調べ) といいます。音楽とは、元々、「音の存在そのもの」を問う「音の存在論」なのです。音楽は存在の家であり、その家には音という存在者が住むのです。

ムジチーレン 私たちは、私たちが演奏する音そのものが、自らが音であることを十分に楽しんでいるかどうか常に問うべきです。音楽とは、決して演奏家自身が楽しむものではありません。演奏家の出す音そのものが、自己の存在を楽しんでいるかどうか、音楽にとって重要であるからです。音は、目に見えなくとも、いや、目に見えないがゆえに、たえず「存在すること」を求めるのです。その音に「存在」を与えるのは、私たち「音楽する」演奏家です。ドイツ語には、「音楽する」(musizieren) という動詞があります。どの一音を演奏するときにも、「果たして音が音で在ることを喜んでいるだろうか」と絶えず謙虚になることが、「ムジチーレン」の真義でしょう。音程が正しく、ハーモニも澄んでいて、リズムも崩れていず正確で、情緒と知性があって、新鮮で、生き生きして、全体の姿が美しい—これが音楽です。

楽の音の世界 では、みなさまは、本日の「春日井市民第九演奏会」になにを聴くのでしょうか。むしろ、「音が楽しむ」のを聴くのです。「楽しんでいる音」を聴くのです。清水に美しい魚が泳ぐのを見るのです。真っ青な天空に飛ぶ鳥を見るのです。厳しくそびえ立つ山を登るのです。山頂から眼下に広がる未来を楽しむのです。蝶となって花園で遊ぶのです。愛する人たちと生きる喜びを共にするのです。このどこにも、「音」はあります。まさに、ミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」で歌われる“The hills are alive with the sound of music” (どの丘も楽の音で満ちている) 世界がそこにあるのです。ベートーヴェンが彼の「第九」で私たちに伝えたかった最大のメッセージは、「音が音で在ることを楽しむ世界の存在」、すなわち、「音楽を造る人がいて、音楽を聴く人がいる世界の存在」

を信じることです。聴衆と合唱団とオーケストラと歌手と舞台関係者と実行委員会と市長と議員と行政と劇場とプレスとTVと花屋と印刷屋とタクシーとアルバイトとお弁当屋さんなどなどの市民が一堂に会するために、作曲家であるベートーヴェンは「第九」を書いたのです。



ケルトナートル (脇) 劇場
 («第九」初演の地)

作曲年代	1817年-1824年2月
初演	1824年5月7日 ケルトナートル劇場
献呈	プロシヤ王フリードリヒ・ヴィルヘルム3世
出版	1826年6月 マイツ市ショット社。 総譜・管弦楽合唱パート譜・終楽章ピアノ版
総譜出版	
楽器編成	fl.ob.cl.fg. (第4楽章でピッコロとコントラ・ファゴットが加わる)。trp. (第2楽章と第4楽章にトロンボーン3が加わる)。以上各2。hrn.4.tim. (第4楽章にはトライアングルとシンバルと大太鼓が加わる)。弦5部。ソプラノ、アルト、テナー、バリトンの各ソロと混声合唱。
第1楽章	快速に・ただし控え目に・そしてやや威厳をもって・二短調・2/4拍子(14分)
第2楽章	きわめて早く活発に 二短調・3/4拍子・スケルツォ(11分)
第3楽章	ごくゆっくりと歌うように・変口長調・4/4拍子・変奏曲(16分)
第4楽章	とても急速に 二短調・3/4拍子(28分) [全1時間09分]

第4楽章の解説

第4楽章は次の18の部分に分かれています。いよいよ交響曲に声楽(ソロと合唱)が登場します。

1. 「序奏」=前3楽章の帰りととても急速に) 二短調・3/4 拍子(開始小節数: 1)
2. 「喜びの歌」: オーケストラによる主題の呈示 (は

- なはだ速く) 二長調・4/4拍子(92)
3. 「ベートーヴェンによるマニフェスト」(とても急速に) 二短調・3/4拍子(208)
バリトン・ソロ (レシタティーヴ)
0 Freunde, nicht diese Töne!
おお、友人たちよ、このような調べではない!
Sondern laszt uns angenehmere
anstimmen, und freudenvollere!
もっと楽しく喜びに溢れた調べを歌おう。
 4. 「喜びの歌」: 声楽による主題の呈示 (はなはだ早く) 二長調・4/4拍子(237)
バリトン・ソロ
Freude! 歓喜よ!
合唱(バス)
Freude! 歓喜よ!
バリトン・ソロ
Freude! 歓喜よ!
合唱(バス)
Freude! 歓喜よ!
バリトン・ソロ
Freude, schoner Gotterfunken,
歓喜よ、美しい神々の火花よ、
Tochter aus Elysium,
楽園から来た乙女よ、
Wir betreten feuertrunken,
私たちは火に酔いしれて、
Himmliche, dein Heiligtum!
神々しき者よ、あなたの聖所に踏みいる。
Deiner Zauber binden wieder,
あなたの魔力は再び結びつけるのだ、
Was die Mode streng geteilt;
時流が鋭く引き裂いたものを。
Alle Menchen werden Bruder
すべての人々は兄弟になる、
Wo dein sanfter Flugel weilt.
あなたの優しい翼が広がるところに。
合唱(アルト、テナー、バス)
Deiner Zauber binden wieder,
あなたの魔力は再び結びつけるのだ、
Was die Mode streng geteilt;
時流が鋭く引き裂いたものを。
Alle Menchen werden Bruder
すべての人々は兄弟になる、
Wo dein sanfter Flugel weilt.
あなたの優しい翼が広がるところに。
(間奏・4小節)
 5. [第1変奏]=4重唱 二長調・4/4拍子(268)
3重唱(アルト、テナー、バリトン)
Wem der grosse Wurf gelungen,
一人の友の友となる
Eines Freundes Freund zu sein,
大いなる企図が成就した者、
4重唱
Wer ein holdes Weib errungen,
一人の優しい女性を勝ち得た者は
Mische seinen Jubel ein!

喜びの声に唱和しなさい

Ja, wer auch nur eine Seele
そうだ、この地上でただ一人でもその人の
Sein nennt auf dem Erdenrund!
心が自分の物だと言える人は唱和しなさい。
Und wer's nie gekonnt, der stehle
そしてそれができなかった者は、
Weinend sich aus diesem Bund.
泣きながらこの仲間からたち去るがよい。

合唱

Ja, wer auch nur eine Seele
そうだ、この地上でただ一人でもその人の
Sein nennt auf dem Erdenrund!
心が自分の物だと言える人は唱和しなさい。
Und wer's nie gekonnt, der stehle
そしてそれができなかった者は、
Weinend sich aus diesem Bund.
泣きながらこの仲間からたち去るがよい。

(間奏・4小節)

6. [第2変奏]=4重唱 二長調・4/4拍子(297)

2重唱(テナー、バリトン)

Freude trinken alle Wesen
すべての生き物は
An den Brusten der Natur;
自然の乳房に触れて喜びを飲む。
3重唱(アルト、テナー、バリトン)
Alle Guten, alle Bosen
すべて善き者も、悪しき者も
Folgen ihrer Rosenspur.
その薔薇のような香りに誘われるのだ

7. [第3変奏](305)

4重唱

Küsse gab sie uns und Reben,
自然は私たちにキスとブドウと
Einen Freund, geprüft im Tod.
終生変らぬ友を与えてくれた。
Wollust ward dem Wurm gegeben,
肉欲はウジ虫にくれてやった、
Und der Cherub steht vor Gott!
そして天使ケルビムが神の前に立つのだ!

8. [第4変奏](313)

合唱

Küsse gab sie uns und Reben,
自然は私たちにキスとブドウと
Einen Freund, geprüft im Tod.
終生変らぬ友を与えてくれた。
Wollust ward dem Wurm gegeben,
肉欲はウジ虫にくれてやった、
Und der Cherub steht vor Gott!
そして天使ケルビムが神の前に立つのだ!
Und der Cherub steht vor Gott!
そして天使ケルビムが神の前に立つのだ!
steht vor Gott!
神の前に立つのだ!
vor Gott!
神の前に!

9. [第5変奏](とても快速に、活発に、行進曲風に)

変口長調・6/8拍子(331)

オーケストラだけによるトルコ行進曲

10. [第6変奏]=テナー・ソロと男声合唱による行進曲(375)

テナー・ソロ

Froh,
進め、
Froh, wie seine Sonnen fliegen
天体の壮麗なプランによって
Durch des Himmels pracht'gen Plan,
もろもろの太陽がへめぐるように喜ばしく
Lauftet, Bruder, eure Bahn,
進みなさい、兄弟たちよ、あなたの道を、
Freudig, wie ein Held zum Siegen.
勝利に向かう英雄のように喜びにみちて。
テナー・ソロと男声合唱(テナー1、テナー2、バス)
Lauftet, Bruder, eure Bahn,
進みなさい、兄弟たちよ、あなたの道を、
Freudig, wie ein Held zum Siegen.
勝利に向かう英雄のように喜びにみちて。

11. 「喜びの歌」=再現部 二長調・6/8拍子(543)

合唱

Freude, schoner Gotterfunken,
歓喜よ、美しい神々の火花よ、
Tochter aus Elysium,
楽園から来た乙女よ、
Wir betreten feuertrunken,
私たちは火に酔いしれて、
Himmliche, dein Heiligtum!
神々しき者よ、あなたの聖所に踏みいる。
Deiner Zauber binden wieder,
あなたの魔力は再び結びつけるのだ、
Was die Mode streng geteilt;
時流が鋭く引き裂いたものを。
Alle Menchen werden Bruder,
すべての人々は兄弟になる、
Wo dein sanfter Flugel weilt.
あなたの優しい翼が広がるところに。
(後奏・4小節)

12. 「抱擁の主題」=呈示(やや遅く、威厳をもって)

ト長調・3/2拍子(595)

男声合唱

Seid umschulingen, Millionen!
抱き合おう、百万の人よ!
Diesen Kuss der ganzen Welt!
この口づけを全世界の人に!

全合唱

Seid umschulingen, Millionen!
抱き合おう、百万の人よ!
Diesen Kuss der ganzen Welt!
この口づけを全世界の人に!

男声合唱

Bruder! — uberm Sternenzelt
兄弟たちよ! 星空の上には

Muss ein lieber Vater wohnen.

一人の父が住みたまうに違いない。

(へ長調へ転調します)

全合唱

Bruder! — uberm Sternenzelt
兄弟たちよ! 星空の上には
Muss ein lieber Vater wohnen.
一人の父が住みたまうに違いない。

13. 「懐疑の主題」(ゆるやかに、急がないで、敬虔に)ト短調。3/2拍子。(627)

合唱

Ihr sturzt nieder, Millionen?
ひざまずくのか、百万の人よ?
Ahnest du den Schopfer, Welt?
お前は創造主を予感するのか、世界よ?
Such' ihn uberm Sternenzelt!
星空の上に彼を求めよ!

uber Sternen muss er wohnen.
星々のかなた、彼は必ず住みたまう。
uber Sternen muss er wohnen.
星々のかなた、彼は必ず住みたまう。

14. 「2重フーガ」(快速に激しく、常に音をはっきり出して)二長調・6/4拍子(654)

Seid umschulingen, Millionen!
抱き合おう、百万の人よ!
Diesen Kuss der ganzen Welt!
この口づけを全世界の人に!
Freude, schoner Gotterfunken,
歓喜よ、美しい神々の火花よ、
Tochter aus Elysium,
楽園から来た乙女よ、
Wir betreten feuertrunken,
私たちは火に酔いしれて、
Himmliche, dein Heiligtum!
神々しき者よ、あなたの聖所に踏みいる。

15. 「懐疑の主題」=変奏(730)

合唱(バス)

Ihr sturzt nieder, Millionen?
ひざまずくのか、百万の人よ?

合唱(テナー)

Ahnest du den Schopfer, Welt?
お前は創造主を予感するのか、世界よ?

合唱(アルト)

Such' ihn uberm Sternenzelt!
星空の上に彼を求めよ!

全合唱

Such' ihn uberm Sternenzelt!
星空の上に彼を求めよ!

Bruder!
兄弟たちよ!

Bruder! — uberm Sternenzelt
兄弟たちよ! 星空の上には

Muss ein lieber Vater wohnen.
一人の父が住みたまうに違いない。

16. [第7変奏]=4重唱(快速に、ただし控え目に)二長調・2/2拍子(763)

4重唱

Freude Tochter aus Elysium,
歓喜よ、楽園から来た乙女よ、
Tochter Tochter aus Elysium,
乙女よ、楽園から来た乙女よ、
Deiner Zauber binden wieder,
あなたの魔力は再び結びつけるのだ、
Was die Mode streng geteilt;
時流が鋭く引き裂いたものを。

4重唱と合唱

Deiner Zauber binden wieder,
あなたの魔力は再び結びつけるのだ、
Was die Mode streng geteilt;
時流が鋭く引き裂いたものを。
Alle Menchen Alle Menchen
すべての人々は、すべての人々は、

合唱

Alle Menchen werden Bruder,
すべての人々は兄弟になる、
Wo dein sanfter Flugel weilt.
あなたの優しい翼が広がるところに。

17. [第8変奏](814)

合唱

Deiner Zauber binden wieder,
あなたの魔力は再び結びつけるのだ、
Was die Mode streng geteilt;
時流が鋭く引き裂いたものを。
Alle Menchen werden Bruder,
すべての人々は兄弟になる、

4重唱

Alle Menchen werden Bruder,
すべての人々は兄弟になる、
Wo dein sanfter Flugel weilt.
あなたの優しい翼が広がるところに。

18. 「コーダ」(きわめて早く) 二長調・2/2拍子(843)

合唱

Seid umschulingen, Millionen!
抱き合おう、百万の人よ!
Diesen Kuss der ganzen Welt!
この口づけを全世界の人に!
Bruder! — uberm Sternenzelt
兄弟たちよ! 星空の上には
Muss ein lieber Vater wohnen.
一人の父が住みたまうに違いない。
Seid umschulingen, Millionen!
抱き合おう、百万の人よ!
Diesen Kuss der ganzen Welt!
この口づけを全世界の人に!
Freude, schoner Gotterfunken,
歓喜よ、美しい神々の火花よ、
Tochter aus Elysium,
楽園から来た乙女よ、
Freude, schoner Gotterfunken,
歓喜よ、美しい神々の火花よ。

みんなで歌おう、春日井賛歌を…

<歓喜の歌>

作詩●なかにし礼



1、あ い こ そ か ん き に み ち



び く ひ ー か り さ え ぎ る



く な ん を こ え て す す ー ま



ん か ん き の い た ー だ き



ふ み ー し め た と き わ ー れ



ら は き ょ う だ ー い せ か い は ひ ー と



つ か ん き の い た ー だ き ふ み ー



し め た と き わ ー れ ら は き ょ う



だ ー い せ か い は ひ ー と つ

1. 愛こそ歓喜にみちびく光
さえぎる苦難を越えて進まん
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ
歓喜の頂いただき踏みしめた時
我らは兄弟世界は一つ

2. 気けだか高き乙女をかり得たものよ
手を取りかんこ歓呼の叫びをあげよ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ
人間一人で何が出来よう
愛なき孤独の人は立ち去れ